

日本共産党品川区議会議員

菊地貞二

週刊区政ニュース第367号

09年01月11日発行

派遣村で命をつないだ人々

こんな社会でいいのか！

相談を持ちかけてきたのは、57歳になる建設労働者。ここ数年、勤めた建築会社が次々と倒産し二葉二丁目のアパートも追い出され、ここ数日は食事もとっていないとのこと。区役所は年末の休みに入っていることから相談する場所もなく、取りあえず食事代をカンパし、



炊き出しに並ぶ入村者

5日の開庁日に保護課で相談をしようと約束して別れました。この方は土木関連の資格や免許をいくつか保有していましたが、ハローワークにいても現住所がないことから職に就くことが出来

「年越し派遣村」は労働組合や市民団体など

国と行政の責任を明確に

働組合や市民団体など

なかつたといえます。それでも携帯電話だけは命綱として1月15日まで利用できる料金を支払っているとのことと1月29日になって「年越し派遣村」開設の連絡があり、日比谷へ行くよつ伝えました。年が明けてから連絡があり、「中央区の施設で宿泊が可能となり相談が出来るので取りあえず就職相談をする。若い方たちの宣伝に声をかけたおかげで命をつなぐ事が出来た。共産党の皆さんに感謝している。就職が決まったら必ず連絡します。」と述べていました。

人間らしい雇用とくらしを求め
がんばれば社会は変わる

暮れも押し迫った12月28日夜、大井町駅前で日本共産党青年後援会のみなさんが宣伝中に職を失った男性から相談がありました。
連絡を受け、駆けつけてみると・・・



でつくる実行委員会が労働相談、住居相談に応じるために1月5日まで東京・日比谷公園に開設されました。



「派遣切り」「期間工切り」などで仕事や住まいを失った非正規労働者らのためにテントを張り、炊き出しをしながら、政府交渉を

おこない12日までの宿泊施設を確保していましたがその後どうなるのかという不安は消えることはありません。

無法は許さない政治を

厚生労働省は、派遣や期間工など、職を失う非正規労働者が、来年3月までで8万50

00人にとるという調査結果をまとめました。しかしこれも氷山の一角です。9割が再就職できず、住まいを失った人もすでに2000人以上に上っています。金融機関などの予測では、今回の不況で失われる雇用は、非正規、



正規を問わず百数十万人に上るといいます。

しかし、問題はどのようにして大企業の無法な解雇をやめさせ、仕事を失う人を減らすかです。そうした立場を欠く予測では、きびしいのだから、がまんしろといっているのと同じです。

人間らしい雇用と生活を手にしたい。そんなぎりぎりの願いさ

え踏みにじっている大企業の無法な雇用破壊と、それをやめさせることができない自公の政治に怒りを抑えることができません。



「新春のつどい」のご案内

2月1日(日)
きゅりあん
6階大会議室
午後2時開会

今年はくらし破壊の政治にストップをかける年。みなさんとご一緒にその決意を深める催しでもあります。どうぞご参加をください。

無料法律相談会 (生活相談は随時)

ところ **すずらん通り事務所**

日時 **1月29日(木)**

午後**6時**～**8時**



前日まで15742-6818までお電話を下さい。